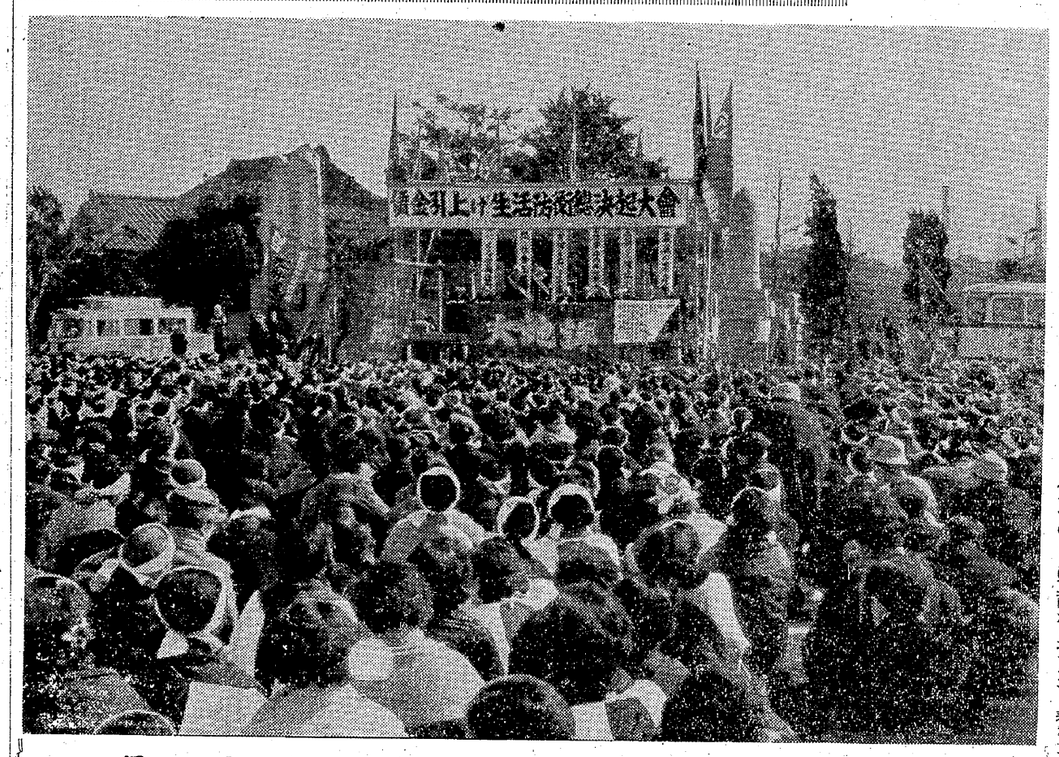
共斗で最後の単産妥結まで



賃上 生活防衛 總決起大会で團結の誓い

大会は二月の寒風を衝き　十九日午前十時笹林公園で開かれ　大地評傘下の各労組員家族を始め華商連を中心に中小商工企業者約三万人が参加　鳩山首相　倉石労相への抗議文　大会決議文を採択の後　五月橋を経て大牟田警察署に至るデモを展開し気勢を挙げた

スパイやPR運動など 敵の分裂工作を排除 統一闘争で断乎闘い抜け

いつまでたつてもくらしはらくにならない。こんな生活ばかりにあえんだと総評を中心とした賃上げの統一闘争は今までになく盛りあがつてきている。この責任は政府や資本家にあるのだが、かれらは労働者がいかにも不当な要求をしているようにわめきちらし、国民とのなかをさこうとしているし、また労働者のなかをさこうとしているいろいろの攻撃をかけて来ている。大牟田でもそれを証明するいろいろの事件が起つている。私たちは、こんなことにまけずに敵の意図にのらないように、労働者おたがいの結びつきをつよめなければならない。以下は大牟田の労働者に加えられている敵の攻撃です。

記者を装い探る

昨年十一月廿九日、社会運動通信社記者、日下部雅昭と名のる男が大地評を訪れた。

〃大会前から出たから社会党にかわつて共産党が出るだろう〃とか〃共産党の地区委員の森田さんはこういつた。なかなか立派な人だ〃とか、総評の高野書記とは親しい仲のようにいいふらし、中央の情勢にくわしいような話をした。

彼は共産党でもいわないようなことまいつて、進歩的人間だと信じこませようとたくらんでいた。そして、運動がどんなふうにやられているか、誰が中心人物か、どんなにつながつているかをさぐりだそうとしていた。

今までの記者とは違つた態度に不審をいだいたので、大地評では東京へ連絡をとつた結果、

一、日下部という男は社会運動通信社にはいない。

一、名刺にある電話番号は通信社ではなくデタラメのものであることがわかつた。

しかもそのことが大地評で問題になつている頃（今年に入つて）三池合成に現われて以来（一月二十四日）表面から姿を消してしまつた。その後、元会社幹部の家に別の名前で出入りしていることまではわかつた。

以上の事実から、彼が誰かのさしがねで大牟田の労働運動に対してスパイを働いていたことは明らかである。（日下部は本名を久保田一郎といい、大牟田生れで、今の上官小学校卒業、旧軍人で佐官級参謀本部にいたといわれる）日下部の事件は、我々の闘争に対する切崩しの具体的なあらわれである。

手をかえ品をかえ

これらの攻撃はどこでも同じような方法ではない。手をかえ品をかえて行はれている。

三鉱労組の会社側は、三鉱連と化学との関係を三鉱と化学との関係であつたと考えられる。

その他いろいろの方法で情報が政府や資本家のもとに集められている。それにもとづいて思想的、組織的分裂の攻撃が加えられて来ている。

百十三日の首切反対闘争で後退を余儀なくされた三鉱の会社側は、今までのように正面からおさえつけるのでは、ますます闘いを激しくすることまいやでも知らされ、正面切つて衝突することは出来るだけさけている。職制も今までみたいに威張らなくなつている。職場、地域の要求は譲歩しているそこでは目の前の敵が後退してそこの正体が暴かされて来ている。化学ではどうだろう、景気がよいといわれているために、労働者の闘争の前にいくらかは出してきたしかし〃儲かつたから出そう〃というそんな純情な気持ではない。

〃おれんとこは鉱山みたいに景気のわるいところとは違うんだ〃と思わせることにネライがある。すでに三菱では税込三千円を回答した。東圧、合成、電化でもいくらかは出すだろうという期待を持たせている。

ストー権をへ、クダンされている官公労には、懲罪賞、ビラ貼り、組織担否、定時退庁などみんな違法だと国家権力による直接的な弾圧に出て来ている。

〃景気がわるいから仲々賃上げはできんだろう〃（鉱鉱）

〃儲かつてるから大した闘争をしなくても出すだろう〃（化学）

〃あまり闘争したら処罰されるのではないだろうか〃（官公労）

というようなことにでもなつたら

〃賃金引上げ生活防衛決起大会〃

三鉱労組では、春季賃上の二、三月闘争の進め方として山元独自の三段階方式（職場、支部、本部）による労働条件等の到達闘争を、一月四日の中央委員会に提案確認されたが、要求事項については各支部で整理集約し要求事項とすることが決定され。二十一日には職員組合との共闘会議が開かれ、同日夕刻には共闘指令第二号を発し三月三日までの闘争スケジュールを精力的に闘うことを指令した。

これらの攻撃はどこでも同じような方法ではない。手をかえ品をかえて行はれている。

共闘で職場到達闘争

山元獨自の要求をかゝげて

三鉱労組では、春季賃上の二、三月闘争の進め方として山元独自の三段階方式（職場、支部、本部）による労働条件等の到達闘争を、一月四日の中央委員会に提案確認されたが、要求事項については各支部で整理集約し要求事項とすることが決定され。二十一日には職員組合との共闘会議が開かれ、同日夕刻には共闘指令第二号を発し三月三日までの闘争スケジュールを精力的に闘うことを指令した。

なお、職労共闘指令第二号による闘争スケジュールは概要次の通りである。

共闘指令要旨

○二十一日以降　職場共闘委で要求事項の確認

○二十三、四日　鉱組の三種委議無記名投票

○二十五日　要求書提出内容説明

○二十七、八日　交渉

○二十九日　鉱長（部課長）に未解決事項要求書提出及内容説明

○三月一、二、三日　未解決事項の精力的交渉

致要求決定、十四日会社（要求書提出、回答日は二十三日。

以上の要求を闘い取るために組合員一律六〇〇円の臨時闘争資金の積立てを、併せて決定し、闘いに万全を期している。

資本家の大衆斗争

このような悪質的な攻撃も、それだけでは不充分だと労働者の中に彼等の意図を支持するグループを作ろうとしている。

労働者同友会という右翼団体が三菱で八〇名ぐらいいる。東圧にもいる。三鉱では極秘裡に組織されているといわれる。

彼等は一体主義といつて労資協調を強調し「社会党、共産党の動きを中央に報告する」とスパイ行為をやることを規約にうたつているさらに東圧では労働係が中心になつて社会研究会を作つている。職制が組合員を呼んで酒をのませることが盛んにやられたり、会社の幹部が社宅へ出て行つてオルグ（？）活動をやつたり、社宅の管理人を集めて社宅の情報を逐一報告するように教育したり、いろんなことがやられている。

そしてある職場の活動家が「最近、職制がさかんに世話役活動をやるのでひまのない組合の方がたちおくれるのではないか」というほど彼等の動きは活発になり、人と人との関係をつよめようとしている。

今、資本家がさかんにやつているPR活動とは、労働者とその家族を彼等の方にひきつけるための、いわば彼らの大衆闘争ともいえる。

賃金、期手など要求

東壓労組　二月十七日

東圧労組は二月十日より、本部で春季闘争の諸要求を審議中であつた中央委員会は、十五日賃金引上げ、期末手当、退職金、結婚資金、退職金等の全要求を決定し、十七日会社に要求書を出し、三月一日に回答を求め三月十日の合化労連の統一闘争の波に合せるべく努力中である。

要求内容は

賃上げ

社員

税込一人当	二九二三円	
内一律	一八四〇円	

現務員

税込一人当	二〇〇〇円	
内一律	一二五〇円	

家族手当を新に設ける

一人目	六五〇円
二―三人迄	四五〇円
四人以上	三〇〇円

月額給として、出勤日数が十五日に満たない時は支給しない

期末手当

社員

一人平取平均	四八、四〇〇円
内一律	五、〇〇〇円

現務員

一人平取平均	二九、九〇〇〇円
内一律	三、〇〇〇円

条件

一、女子の生理休暇を出勤日数として計算する

二、一律金は長期病欠者にも支給する

退職金

社員

スライド係数を廃止して金額をあげ、三十年勤続で一八〇万円

現務員

雇傭継続年数別の計算基準を引上げる

勤続五年迄一年に四五〇〇

六年―十年　七〇〇〇

十一―二五年　七七〇〇

二六―三〇年　五五〇〇

三一年以上　一八〇〇

結婚資金

社員

初婚	二〇〇〇〇円
再婚	一〇〇〇〇円

現務員

満一年以上勤続	四〇〇〇円
〃二年〃	七〇〇〇円
〃三年〃	一〇〇〇〇

以上が春季闘争の要求大要でありその他、労協改正、雑件が含まれている。

交渉は要領よく 精力的に!! 電化労組

連署要求を 會社側は拒否

窓口突破の斗いへ

三菱労組では、一月末より二月決定され、明末手当は二五・〇〇〇円を決定。二月十七日全鉱連傘下組合一斉に賃金要求書を提出した。

三菱労組は、去る二十三日の代議員会、二十四日の総会によつて、賃上げ、退職金、住宅手当、通勤費の完全獲得のため、実力をもつて闘う方針を決定した。

この方針は、更に組合員投票によつて最終決定となるわけだが、すでに実力闘争の線は動かないものと見られている。

なお、会社は四要求に対して、賃上げ二千円を回答している。

大牟田の官公労は十五日の第一波突入、国鉄大牟田支部の福岡駅職場大会を皮切りに各単産とも逐次立ち上つた。

国鉄、二月十五日福岡駅において支部傘下各地の応援を得て十二時半から十五時迄、三時間の職場大会を持ち、十七日には鹿児島本線大牟田駅構内にかけ、次官通達をハネトバシ、翌日十八日には渡瀬駅で八時三十分から九時三十分まで職場大会を持つた。ところが大牟田駅の鹿児島線が当の職場大会の開催中当局の手で引き除されたと言うので、大牟田に引返し、団交を持ちその不当を衝き、更に鹿児島線をはり、テツキョした際は更に千枚はると通告、ところが当日午後五時ごろ当局は文書で、鹿児島線よりポスターを明日正午まで撤去するよう申入れて来たので、その夜更に団交を持ち「若し当局において撤去するなら、丁度明日は大地評決起大会だし、そのデモ隊が押し寄せるだろう」との申し入れに驚愕慌てふためき、遂に折れたまくの状態でニラミ合い。

そして第一波の撮終日二十一日は荒木駅で八時三十分から十時まで職場大会を持つて終つた。

火蓋を切つた官公労 第一波は職場大会から

去る一月十一日、全自労本部が賃上げを中心とする十大要求を提出して以来、全国的に春期闘争をとりくんでいるが、大牟田労会では、賃上げ闘争前の立遅れを克服し、金労働者と共に足並みをそろえるためには、どうしても、繰返し繰返し現場討議を起して、どんな小さい問題でも出し合つて闘つていきつつ全組合員の意志を結集して闘に統一して闘うと。現在執行部を中心に、居住と職場において話し合いがなされている。

全国統一要求は

一、賃金一律五〇円引上げろ

二、月二十五万動かせろ

三、越冬十日、越年十五日分の手当を予算化せよ

四、生活保護基準を二割引上げろ

五、現行六割負担の失対賃を八割

政府が負担せよ

など十項目であるが

現場で今、問題になつているのは新入学児童の教科書と眼、及び進学生の教科書、学用品などが、どうしても買えない。市に要求するが無いと言い合われ、父入浴料値上によつて益々入浴できなくなつた。値下げしようと、要求が出されている。

新入学の学童服と教科書については昨年も支給しているので（田中市長時代）今年も考慮したいと、細谷市長は回答しているが、進学生については、困難はあるが、要求はものすごく、早く市長団交をやつて執行部をツキ上げている。

学用品と教科書を支給してくれ

新学期を前に切実な要求 ＝官労＝

三染労組、PRを封殺

賃上げも何も負けだ

これに敗けたら

こと数年来、あらゆる闘争のたび毎に、会社、職制の露骨な圧迫、恐喝による闘争切りくずしになやまされつづけて来た三染の労働者は、今度はまた一層悪質なPR活動に対してより困難な闘いをつづけている。

三染の会社側は今年になつてからきゆだつてPR活動をひろげて来た。

現在のところ、組合執行部の大胆なバクロ戦術と抗議、或いは機関紙による宣伝活動によつて会社のPR活動は次々と封殺されており、三染労組ではPR活動に対する特殊な闘いにおいて多大の成果をあげている。ではPR活動は三染で一体どのようにあらわれているか。

第一に、三染労働者の賃上げ、退職金に対する強い要求をおさえるために、さも三井化学の繁栄がその実現はたいしたものではない、と云う風に印象づけるため、ゴマカシの数字をおしつけること。

二十場の課長や課長代理等職制はすでに一月ごろから関係各職場で説明会をデッチあげ、会社の経営内容を、かくかくしかじかと説いて廻つている。

各社の経営内容を比較したり、資本金をくらべた或いは従業員一人当りの年産高や販売高をくらべたりする。

しかも、単に数字で説明するでなく、たとえばなにいそがしい者であろうと、また文字を見こと数字を、会社の経営内容をデッチあげ、会社の経営内容を、かくかくしかじかと説いて廻つている。

それは大地評を中心とした共同闘争と各単組の物心両面からなる支援に「ガッチリ」とさえられていたからである。

これに対して二月一〇日会社側より検討中につき回答延期の申し入れがあつた。

賃上げ、一人平均約三・〇〇〇円二月十三日総会代議員会で満場一致要求決定、十四日会社（要求書提出、回答日は二十三日。

以上の要求を闘い取るために組合員一律六〇〇円の臨時闘争資金の積立てを、併せて決定し、闘いに万全を期している。

三染労組

春闘にかまえて 臨時闘争資金

三合一人六〇〇円を積立てる

三合労組は昨年暮れの期闘で、七日間にわたる「全面スト」を打つた。これは会社側が組合員の中に「期闘ではストは打てない」という消極的な考え方があるのにつけこんで期末手当の一方的な支払いを強行や売店のカケ売り中止等の悪ラツを手段を取つたからである。

このような会社側のやつきになつた組合切り崩し策に三合組合員はかつてない意識の高まりを見せて立ち上つている。

現在要求は、

退職金、現行高小卒三〇年勤続約八〇万を約一二〇万に増額する。

これに対して二月一〇日会社側より検討中につき回答延期の申し入れがあつた。

賃上げ、一人平均約三・〇〇〇円二月十三日総会代議員会で満場一致要求決定、十四日会社（要求書提出、回答日は二十三日。

以上の要求を闘い取るために組合員一律六〇〇円の臨時闘争資金の積立てを、併せて決定し、闘いに万全を期している。

連署要求を 會社側は拒否

窓口突破の斗いへ

三染労組では、一月末より二月決定され、明末手当は二五・〇〇〇円を決定。二月十七日全鉱連傘下組合一斉に賃金要求書を提出した。

三菱労組は、去る二十三日の代議員会、二十四日の総会によつて、賃上げ、退職金、住宅手当、通勤費の完全獲得のため、実力をもつて闘う方針を決定した。

この方針は、更に組合員投票によつて最終決定となるわけだが、すでに実力闘争の線は動かないものと見られている。

なお、会社は四要求に対して、賃上げ二千円を回答している。

大牟田の官公労は十五日の第一波突入、国鉄大牟田支部の福岡駅職場大会を皮切りに各単産とも逐次立ち上つた。

国鉄、二月十五日福岡駅において支部傘下各地の応援を得て十二時半から十五時迄、三時間の職場大会を持ち、十七日には鹿児島本線大牟田駅構内にかけ、次官通達をハネトバシ、翌日十八日には渡瀬駅で八時三十分から九時三十分まで職場大会を持つた。ところが大牟田駅の鹿児島線が当の職場大会の開催中当局の手で引き除されたと言うので、大牟田に引返し、団交を持ちその不当を衝き、更に鹿児島線をはり、テツキョした際は更に千枚はると通告、ところが当日午後五時ごろ当局は文書で、鹿児島線よりポスターを明日正午まで撤去するよう申入れて来たので、その夜更に団交を持ち「若し当局において撤去するなら、丁度明日は大地評決起大会だし、そのデモ隊が押し寄せるだろう」との申し入れに驚愕慌てふためき、遂に折れたまくの状態でニラミ合い。

そして第一波の撮終日二十一日は荒木駅で八時三十分から十時まで職場大会を持つて終つた。

発行所
三池炭鑛勞働組合
大牟田市不知火町
電話3033番
炭電 528 474 番

編集兼発行人　山本博路
印刷所　三鉱労組印刷工場

三鑛勞組機關紙

この機關紙は大牟田地區勞組の共同編集です

最後の單産がゴールインするまで

主張

今年の大地評斗争は、かつて見なかつたほど素晴らしい人気だつた。伝え聞くところによると、前の晩、夫婦げんかをしていた人も手を取り合つて応援していたとか特に市役所前のゴールの人気は大したもので、最後の単産がゴールインするまでキツシリ人垣が作られ、拍手と声援で湧き立つた。これは駅伝の陸上の風景だが、このことは現在闘はれている春闘にもいえる。

☆　☆

こんどの賃上げに当つて何カ月も前から新聞や雑誌でジャンジャンさわぎ立て、労働者が非常に強く伝えられている。なるほど昨年の春闘と比較すると、闘いの規模はるかに大きくなつた。だからといつて資本家や絶対多数を誇る国民世論を作り、さいかな労働者の要求をおさえ、糸数をかつて一挙に国会で労働法の改悪や、社会三法の改悪や、憲法までも改悪しようとしている。そういう訳だから本年の賃上げは金労働者にとつては、全く抜き差しならぬものである。現にそういう事実を労働者がよく知つているからこそ、共闘が目に見えて拡がつているのである。

☆　☆

では何をたくらんで彼等はそのような宣伝をするだろうかという、作業現場を知らぬ町方や、農民に如何に労働者が煽車を押しているかを訴え、そのことによつて世論を作り、さいかな労働者の要求をおさえ、糸数をかつて一挙に国会で労働法の改悪や、社会三法の改悪や、憲法までも改悪しようとしている。そういう訳だから本年の賃上げは金労働者にとつては、全く抜き差しならぬものである。現にそういう事実を労働者がよく知つているからこそ、共闘が目に見えて拡がつているのである。

☆　☆

五十一キロ五百米の駅伝コースを走つた選手が苦しかつたようにこの闘いも、生やさしいものでないことも十分わかる。

しかし闘いが進むにつれ、会社或いは当局側のあせりも出て来つつある。ある会社の幹部は言い、うちの組合の引く線は大体わかつているが、共闘がどんな組み方をされているかわからないので、どこでどう変化するかわからないのが心配だ。

といつた具合である。彼等が一番おそれている共闘は、多くの単産が集つてあらゆる角度から闘い方を検討するので、ある時は意外な所から攻撃のホコが向いて来ることがあるので、経営者としれば前にも後にもホコ先を突きつけられたような錯覚をおぼえるだろう。

☆　☆

闘いの解決は、敵が一番おそれている所にクイを打ち込むことである。大牟田では西鉄、全逓、全電通等の未加盟単産との共闘も出来上つた。従来から色々と組合間や、職場間あるいは幹部と組合員間の感情のもつれもあつたかも知れない。しかし今度の闘いは労働者が唆われるかの闘いである。夫婦げんかをした夫婦が手を取り合つて駅伝を応援したように一つの心になつて最後の単産がゴール・インするまで手を取りあつて闘おう。

☆　☆

人と人との関係をつよめようとしている。

今、資本家がさかんにやつているPR活動とは、労働者とその家族を彼等の方にひきつけるための、いわば彼らの大衆闘争ともいえる。

三染労組、PRを封殺

賃上げも何も負けだ

これに敗けたら

こと数年来、あらゆる闘争のたび毎に、会社、職制の露骨な圧迫、恐喝による闘争切りくずしになやまされつづけて来た三染の労働者は、今度はまた一層悪質なPR活動に対してより困難な闘いをつづけている。

三染の会社側は今年になつてからきゆだつてPR活動をひろげて来た。

現在のところ、組合執行部の大胆なバクロ戦術と抗議、或いは機関紙による宣伝活動によつて会社のPR活動は次々と封殺されており、三染労組ではPR活動に対する特殊な闘いにおいて多大の成果をあげている。ではPR活動は三染で一体どのようにあらわれているか。

第一に、三染労働者の賃上げ、退職金に対する強い要求をおさえるために、さも三井化学の繁栄がその実現はたいしたものではない、と云う風に印象づけるため、ゴマカシの数字をおしつけること。

二十場の課長や課長代理等職制はすでに一月ごろから関係各職場で説明会をデッチあげ、会社の経営内容を、かくかくしかじかと説いて廻つている。

各社の経営内容を比較したり、資本金をくらべた或いは従業員一人当りの年産高や販売高をくらべたりする。

しかも、単に数字で説明するでなく、たとえばなにいそがしい者であろうと、また文字を見こと数字を、会社の経営内容をデッチあげ、会社の経営内容を、かくかくしかじかと説いて廻つている。

それは大地評を中心とした共同闘争と各単組の物心両面からなる支援に「ガッチリ」とさえられていたからである。

これに対して二月一〇日会社側より検討中につき回答延期の申し入れがあつた。

賃上げ、一人平均約三・〇〇〇円二月十三日総会代議員会で満場一致要求決定、十四日会社（要求書提出、回答日は二十三日。

以上の要求を闘い取るために組合員一律六〇〇円の臨時闘争資金の積立てを、併せて決定し、闘いに万全を期している。

連署要求を 會社側は拒否

窓口突破の斗いへ

三染労組では、一月末より二月決定され、明末手当は二五・〇〇〇円を決定。二月十七日全鉱連傘下組合一斉に賃金要求書を提出した。

三菱労組は、去る二十三日の代議員会、二十四日の総会によつて、賃上げ、退職金、住宅手当、通勤費の完全獲得のため、実力をもつて闘う方針を決定した。

この方針は、更に組合員投票によつて最終決定となるわけだが、すでに実力闘争の線は動かないものと見られている。

なお、会社は四要求に対して、賃上げ二千円を回答している。

大牟田の官公労は十五日の第一波突入、国鉄大牟田支部の福岡駅職場大会を皮切りに各単産とも逐次立ち上つた。

国鉄、二月十五日福岡駅において支部傘下各地の応援を得て十二時半から十五時迄、三時間の職場大会を持ち、十七日には鹿児島本線大牟田駅構内にかけ、次官通達をハネトバシ、翌日十八日には渡瀬駅で八時三十分から九時三十分まで職場大会を持つた。ところが大牟田駅の鹿児島線が当の職場大会の開催中当局の手で引き除されたと言うので、大牟田に引返し、団交を持ちその不当を衝き、更に鹿児島線をはり、テツキョした際は更に千枚はると通告、ところが当日午後五時ごろ当局は文書で、鹿児島線よりポスターを明日正午まで撤去するよう申入れて来たので、その夜更に団交を持ち「若し当局において撤去するなら、丁度明日は大地評決起大会だし、そのデモ隊が押し寄せるだろう」との申し入れに驚愕慌てふためき、遂に折れたまくの状態でニラミ合い。

そして第一波の撮終日二十一日は荒木駅で八時三十分から十時まで職場大会を持つて終つた。